

21. 高冷地におけるホウレンソウの移植栽培法

福島県農業試験場冷害試験地・平成9～11年度春夏作試験成績概要

1 部門名 野菜－ホウレンソウ－作型・栽培型 03－34－18000000

2 担当者 本馬昌直

3 要 旨

ホウレンソウ連作畑での苗立枯病の回避技術として、移植栽培法を検討した。

(1) 育苗は200穴のセル成型トレイで行い、培土にスーパーミックスAを、覆土にバーミキュライトを用いることで、出芽率が高まった。また、出芽揃いを良くするには、種子を催芽し芽が切れた状態で播種することが効果的であった。

(2) 移植栽培によって在圃期間が短縮され、年間をとおしての収穫回数が多くなり、商品価値の高いML収量は直播栽培に比べて向上した。

(3) 直播栽培は、苗立枯病の発生で多くの欠株を生じた。これに対して、移植栽培は、本葉2～4枚の苗を移植するため、苗立枯病の発生が見られなかった。

(4) 以上のことから、ホウレンソウ連作畑で苗立枯病が多発している場合は、移植栽培を補完的に組み入れることにより安定生産が図られる。

4 主な参考文献・資料

田中修作(1993):農業と科学, 432, 6－10.